



1 2階南側はL字形にして、開放的なデッキをしつらえました。生い茂る木々の葉がすぐそこに。マットを敷いてローテーブルを置き、ピクニック風ランチを楽しむことも。2 南側外観。外壁にモスグリーンのガルバリウム鋼板を使ったため、より周囲に溶け込んだ印象に。3 玄関ホールは、床にソイルセラミックのタイル、壁にアンティーク調レンガを使って、戸外の雰囲気を屋内まで引き込むことに成功しています。4 道路から玄関までのアプローチ。枕木と手すから植えた草花が素朴な印象を与えます。

5 編み物が大好きというYさん。織細なレース編みを楽しみ、作品をインテリアにも取り入れて。6 「イルムス」のアンティークフェアで手に入れた、北欧のカップ&ソーサー。深い色合いがお気に入りだそう。



緑豊かな大ケヤキを借景に 室内には自然になじむカラーを取り入れて、くつろぎの暮らしを

東京都 Yさん

ご夫婦と小学1年生の女の子、3才の男の子の4人家族。
ご夫婦とともにアメリカ暮らしの経験があり、今回の家づくりにもそれが反映されているとか。

Yさんの家が立っている土地は、南側に学校の敷地が広がり、ちょうど境界のあたりに大きなケヤキの木が植えられています。その景観は都心とは思えないほど緑豊か。「この眺めがわが家のハイライト。共働きなので、帰ってきたらのんびり、ゆったりくつろげる家にしたかった。この環境がその願いをかなえてくれました」

借景を十分に生かした2階リビングには、南面に天井から床までガラスの大開口部をとりました。室内からの眺めは、まるで森の中の一軒家といった趣。明るさの中に自然のもつおおらかさが感じられ、ほつとなごめるリビングを実現しています。

「大好きな色に囲まれて暮らしたい」と、ダイニングの壁はイエロー、キッチンまわりはグリーンにペイント。彩度を抑えた中間色が、華やかさとともに大人っぽい落ち着きを感じさせます。

「もともと好きなカラーの傾向が一貫しているので、色選びに迷いはありませんでした。言葉で表現するなら、ビビッドすぎない、北欧系のやわらかい色。植物の葉や土といった、自然界の色とも相性がいいですよね」

Yさんの家が立っている土地は、南側に学校の敷地が広がり、ちょうど境界のあたりに大きなケヤキの木が植えられています。その景観は都心とは思えないほど緑豊か。「この眺めがわが家のハイライト。共働きなので、帰ってきたらのんびり、ゆったりくつろげる家にしたかった。この環境がその願いをかなえてくれました」

借景を十分に生かした2階リビングには、南面に天井から床までガラスの大開口部をとりました。室内からの眺めは、まるで森の中の一軒家といった趣。明るさの中に自然のもつおおらかさが感じられ、ほつとなごめるリビングを実現しています。

「大好きな色に囲まれて暮らしたい」と、ダイニングの壁はイエロー、キッチンまわりはグリーンにペイント。彩度を抑えた中間色が、華やかさとともに大人っぽい落ち着きを感じさせます。

「もともと好きなカラーの傾向が一貫しているので、色選びに迷いはありませんでした。言葉で表現するなら、ビビッドすぎない、北欧系のやわらかい色。植物の葉や土といった、自然界の



2面にガラス窓を設けたダイニングは、サンルームのような光あふれる空間。窓まわりに北欧風のシエードを取り入れて。





7

レンガや草花の素朴な表情がインテリアにナチュラル感をプラス

7 LDの階段側は、階下の玄関ホールから続くアンティーク調レンガ。ガラスをはさんで外まで同じ素材の壁をつなげ、室内に広がりを与えてています。8 来客用を兼ねた2階のトイレ。さわやかなブルーと美しい洗面台が、ホテルのパウダールームのよう。9 LDからオープンになったワークスペースは、ご主人の書斎としてつくりましたが、今は2人のお子さんのデスクがかわいらしく並んでいます。



9

8

「シンプルでもどこかこだわりの感じられるものが好き」というYさんにとつて、スカンジナビアのインテリアは魅力がいっぱいとか。「でもそれだけまとめるのはちょっと違う。エッセンスを取り出して自分なりのアレンジを加えています」。北欧風のカラーリングをベースに、ヨーロッパやアメリカの雑貨をミックス。洋書を参考しながら、自分の感性のままにスタイルを楽しんでいるようです。

インテリアに彩りを添えている草花は、玄関前のアプローチでYさんが育てたもの。買ってきた切り花にはないナチュラルな表情が、この住まいによく似合います。自然に親しむこんなライフスタイルこそ、北欧がお手本なのかもしれません。



10



11



12



13



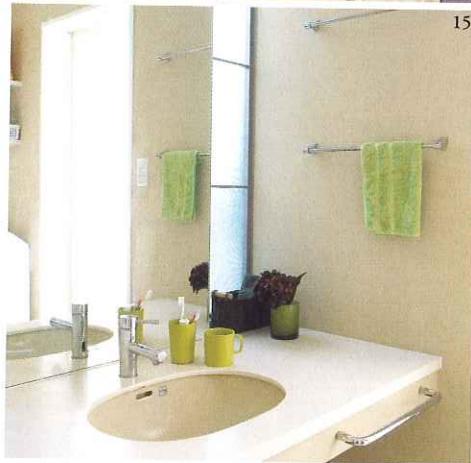
10 「ダイニングでは夜より朝を樂しみたいから」と、壁に元気の出るイエローを選択。木目のきれいな床はカバの無垢材。
11 新居のイメージソースになったのは、何冊もの洋書。「アッシュスタイル」というカテゴリーがイメージに近かつたです
12 キッチンの色は「ライグラス」というくすんだグリーン。イエローの同系色でまとめるではなく、思い切って違う色を合わせたことが、成功のポイントに。
13 キッチンはオーダーキッチン会社の「ホップス」に依頼。奥にはお子さんたちが過ごすワークスペースが見通せます。



14 1階のベッドルームは、一軒で静謐な雰囲気。グレーとバイオレットでまとめて低めのベッドを置き、リラックスできる雰囲気を演出しています。15 サニタリーはバスルームの色に合わせてコーディネート。落ち着いたベージュと白でシンプルに。

Data

家族構成／夫婦十子ども2人
住居形態／築1年の一戸建て
延べ床面積／128.76m²(38.94坪)
(1階68.83m²+2階59.93m²)
設計／studio cy(堀内雪)
☎042-773-2247 URL www.studiocy.com
施工／高政工務店☎03-3417-6621
建築コーディネート／OZONE家づくりサポート



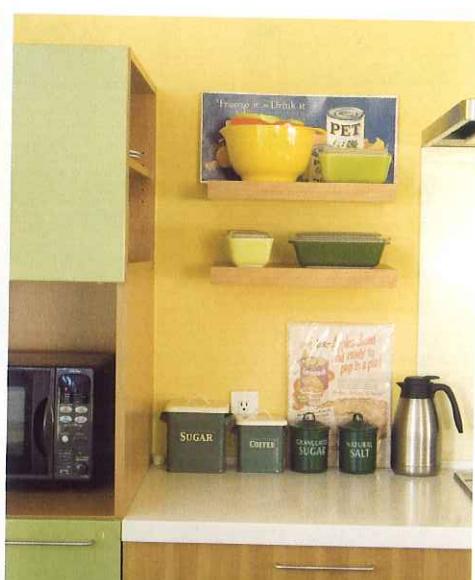
Yさん宅で見つけた、北欧ミックスのヒント



お子さんたちの絵を貼った台紙は、LDの壁と同じ色。空間どうしに関連性をもたせて。



チョコレートやキャラメルを思わせる深いブラウンは、イエローの壁と相性抜群。



カラフルなボウルはアメリカから持ち帰ったもの。アンティークのパイレックスは、色と懐かしい雰囲気が魅力とか。

ポイントは色使い。トーンとバランスに気をつけて配色計画を

「北欧系のカラーは、ぬくもりがあるのに甘すぎないところが魅力。トーンを揃えればカラフルでも統一感のあるインテリアに仕上がります」とYさん。テイストや出身地がばらばらの雑貨も、色のトーンを揃えることでまとまりのある印象に。また内装のカラーは、ほかの部屋との位置関係や空間の広さなどを考えて、バランスのいい配色を工夫したそう。



2階のトイレに採用したのは、「リフレクティングプール」と名づけられた淡いブルー。



1階トイレの壁はちょっとくすんだオレンジ。2階のトイレとは変えて楽しげな色に。

OLD PINE FURNITURE
FRENCH CHANDELIER
ANTIQUE DOOR&WINDOW
IRON GATE & FENCE

the
ON LINE ANTIQUE
www.paddington.gr.jp

French style

Paddington

〒271-0085 千葉県松戸市二十世紀が丘中松町31
tel: 047-392-5755
営業時間 am10:00~pm18:00 每週水曜定休
★最新カタログをご希望の方は1,000円分を郵便小型為替とご希望お送り先丁・住所・氏名・電話番号をご記入の上、弊社宛までお送り下さい。(2007年12月号、2008年4月号の2回分発送)
homepage <http://www.paddington.gr.jp>